

長野県の天文学トピックス（例えば）

2019.02.20 陶山作成

- なぜ「長野県は宇宙県」なのか？
 - 自然条件だけ？
 - 歴史？文化？人のつながり？
 - 近世と近代のつながりは？
- 近世天文学史料
 - 松代真田家の資料：大名道具
 - 伊那高遠の資料：岩崎文庫、石川文庫
 - 天文遊歴家朝野北水関連資料：各地に残る
 - 測量・和算関連：各地に残る。
 - ◇ 天文関連資料がいっしょに残っていることが多い。
 - ◇ 「江戸のモノづくり」で県内の目録がおおよそできたが、各資料の整理、詳細な調査はまだ。
 - ◇ 伊能忠敬の測量（星の観測もしてる）
 - 市井の人々の日記にも彗星の見え方が書かれている。
- 近代初期の天文学
 - 近代初期の望遠鏡（カルバー望遠鏡）：中沢登と山本一清
 - 日本の太陽観測の始まり
 - ◇ 三澤勝衛：諏訪青陵高校、三澤文庫
 - ◇ 田中静人：マイクロフィルムを長野市立博物館が所蔵
- 長野県内研究所の歴史
 - 野辺山、木曽、臼田
 - 設立に至った経緯
- 長野県内アマチュア天文家の活躍
 - 県内の同好会活動など（諏訪天文同好会）
- いっしょに資料調査と勉強会をしませんか？（分科会：天文の歴史と文化研究会？）
 - 仲間募集中！
 - 星図など資料の比較
 - 資料を精査して内容を明らかにする